

第95回メーデー宣言

本日私たちは、「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義の日本をめざそう！」のスローガンを掲げ、第95回つくば中央メーデーを開催しました。

はじめに、今年1月に発生した能登半島地震、ならびに今年4月に発生した台湾東部沖地震において、多くの被害が生じました。亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

これらの地震や13年前に発生した東日本大震災も含め、私たちの日本においては、自然の驚異と向き合っていくことが必要不可欠です。5類移行後も流行の止まらない新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対策も含め、命とくらしを守るための体制強化や関係者の処遇改善を求めます。

私たちの社会を将来にわたって持続可能なものとするためには、自然災害やコロナ禍、地球温暖化といった課題に対し、科学的な知見に基づき向き合っていくことが必要不可欠です。そのような中で、つくば市には科学的知見を生み出す研究機関が多数存在し、研究者が問題解決にむけ日々熱意をもって研究に取り組んでいます。このような熱意ある研究が将来にわたって持続できるよう、基礎的研究費の拡充を求めます。

物価高騰などを背景として労働者の実質賃金の低迷が続く一方、税金や社会保険料の負担は増大し、社会的格差と貧困が広がっています。また、コロナ禍の影響もあって多くの非正規労働者が不安定な雇用環境におかれ、女性への性暴力、DVが増えるなどジェンダー問題も明らかになりました。日本のジェンダーギャップ指数は146ヶ国中125位と先進国で最下位であり、あらゆる分野において男女が共に家庭と仕事を両立ができるポストコロナ社会が望まれます。私たちは人間らしく働き、豊かなくらしを実現するために、すべての労働者の大幅賃上げと労働条件の改善、雇用の安定、ジェンダー平等を求めます。

福島第一原発における処理水の海洋放出や燃料デブリの取り出しといった廃炉作業や、今年の能登半島地震によって生じた志賀原発の被害などの問題は、私たちが安心して暮らしていくために解決が必要不可欠です。原発に依存しない持続可能なエネルギーや社会の実現をめざし、特に著しく老朽化し危険な東海第二原発の再稼働に反対します。

ロシアによるウクライナ侵略や、中東ガザ地区における暴力の応酬など、戦争による災禍はとどまるどころを知りません。私たちは、先人の尊い犠牲によって獲得した日本国憲法と民主主義を守り、全ての人々の自由と命と暮らしが守られる平和な世界の実現をめざします。

最後になりますが、私たちは、働く者の権利を守り、労働環境の改善、市民生活の向上、安心して暮らせる街づくりのため、同じ地域で働く仲間としてここに集いました。私たち働くものの団結で、希望もてる社会を次世代につなぐことを決意して、ここに宣言します。

2024年5月1日
第95回つくば中央メーデー